科目名	スポ	ーツ経営	含論	Sports M	anagement				
科目担当者	柚原 知明 YUHARA Tomoaki								
単位数	2	配当年	F次	2年	授業形態	講義	開講学	朝	後期
					育科目 専門 科目 関連科		ディプロ ーとの関:	マポリシ 連	(3)(4)
授業の概要	・本授業は、以下の内容について学生によるテキストの輪読を踏まえて主要な諸理論と実態を解説し、スポーツ指導者に求められるスポーツ組織のマネジメント能力の習得を行う。 1. スポーツ組織の持続可能性 2. 「目的」のマネジメント 3. 「補完」のマネジメント 4. 地域におけるスポーツクラブとしての「スポーツ少年団」 5. スポーツ指導者に求められるマネジメント 6. スポーツ組織の特性								
授業の到達目標	① スポーツ組織のマネジメントに関する主要な諸理論と実態について学び、スポーツ指導者に求められるマネジメント能力を習得する。 ② 毎回の授業におけるテキスト輪読、及び課題レポートの提出を踏まえてスポーツ指導者に求められる実践的かつ具体的な知識を身に付ける。								
授業外学修	1 ガイダンス 2 スポーツ組織の持続可能性、「目的」のマネジメント 3 「補完」のマネジメント 4 地域におけるスポーツクラブとしての「スポーツ少年団」 5 スポーツ少年団の活動分野と内容 6 スポーツ少年団と総合型クラブとの連携・協働 7 スポーツ指導者に求められるマネジメント 8 スポーツ組織の特性(スポーツ組織の定義) 9 スポーツ組織の特性(スポーツ組織の分類) 10 スポーツ組織の特性(まず利スボーツ組織) 11 スポーツ組織の特性(スポーツ組織のマネジメント) 12 スポーツ組織の特性(ミンツバーグのマネジャーの仕事) 13 スポーツ組織の特性(スポーツ組織マネジャーのコンピテンシー) 14 スポーツ組織の特性(まとめ) ・毎回の授業の範囲をテキスト等の熟読で予習し、理論の内容や専門用語の意味等を調べる								
授業外学修	(毎週 2 時間程度)。 ・毎回の授業後、テキストや配布したスライド等を復習し、課題レポートの提出を踏まえて理論の内容や専門用語の理解を深める(毎週 2 時間程度)。								
D. Address de la Constantina				成績評価	方法		評価比率	到這	幸目標との対応
成績評価方法・ 評価比率・到達 目標との対応	• 毎		芝内容に		極的に授業に 題レポート (最		10% 90%	1 2	
成績評価基準	秀: (評点 90 点以上) 到達目標を極めて高い水準で達成している場合 優: (評点 80 点~89 点) 到達目標を高い水準で達成している場合 良: (評点 70 点~79 点) 到達目標を一定の水準で達成している場合 可: (評点 60 点~69 点) 到達目標を最低限の水準で達成している場合 不可: (評点 60 点未満) 到達目標に達していない場合								
教科書	・公益財団法人日本体スポーツ協会編〔2019〕『リファレンスブック』公益財団法人日本体スポーツ協会。								
	・広瀬一郎〔2005〕『スポーツ・マネジメント入門』東洋経済新報社。 ・八代勉・中村平編〔2002〕『体育・スポーツ経営学講座』大修館書店。 ・山下秋二・畑攻・冨田幸博編〔2000〕『スポーツ経営学』大修館書店。								
参考文献	· 八·	代勉・中	村平編	[2002]	『体育・スポー	-ツ経営学講	座』大修館書后		